



「区政会議」でいただいたご意見への対応状況をご紹介します！！
～「令和元年度第2回区政会議」～

■区政会議とは

区政運営にかかる方針や区における施策・事業について、区民の皆様からご意見・評価をいただき、そのご意見等を施策・事業の改善や新たな展開等に反映させていくために、各区において開催しています。

■第2回区政会議を開催しました(令和元年12月11日)

「令和元年度区運営方針中間振り返り」および「令和2年度区運営方針(素案)」について議論を行い、委員の皆さんから次のようなご意見をいただきました。

※分類

- ①当年度(元年度)において対応
- ②2年度運営方針に反映または2年度に対応予定
- ③2年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④対応困難または対応不可
- ⑤その他

番号	いただいたご意見	対応状況(令和2年7月末現在)	分類	予算措置 (①②の場合記載)
1	【区政会議】 区政会議を意見集約の場としての活用に加え、区職員から課題や苦勞している点を聞き、区政会議で議論を深めていってはどうか。(中野佳弘委員)	区政会議で委員の皆様のご意見をお聞きする際に、必要に応じて区職員から区の課題等をお伝えするとともに、区の課題等をテーマにしたラウンドテーブルの場でもご議論いただきたいと思います。	②	【2年度運営方針】 ・具体的取組1-1-1 区政会議の開催と意見・評価の反映 2年度予算額 228千円
2	【広報紙】 広報紙を小学校で配付して児童が家に持って帰ると、家庭で見えて貰えるので、効果的ではないか。(竹田委員)	令和元年度第1回区政会議でも同様のご意見をいただいております。令和2年7月号の特集面を区内の市立小学校に配布いたしました。	②	【2年度運営方針】 ・具体的取組1-1-3 “伝わる広報”を意識した情報発信の強化 2年度予算額 15,394千円
3	【広報紙】 広報紙の表紙に区公式LINEアカウントのQRコードを掲載することによりLINEのお友達が増えれば、LINEで毎月1日に送られる広報紙を読む方が増え、広報紙の印刷部数の削減につながるのではないか。(中野浩志委員)	当月のイベントカレンダー等の情報を掲載し、表紙と並んで区民の皆様にご覧になっていただきやすい最終面(裏表紙)に、令和2年度5月号からLINEアカウントのQRコードを掲載いたしました。	②	【2年度運営方針】 ・具体的取組1-1-3 “伝わる広報”を意識した情報発信の強化 2年度予算額 15,394千円
4	【QRコードの活用】 ポスターでは、全ての情報を確認することができないので、ポスターにホームページのQRコードを付けてはどうか。(中野浩志委員)	第2回区政会議でのご指摘以降、誘導できるホームページがあるイベント等のポスターには、原則としてQRコードを掲載することとしています。	①	なし
5	【子育て支援】 子育て関連の資料・情報を、お母さんだけでなく、お父さんをはじめ関係する人たち誰にでも手に入れるようにしてほしい。(三宅委員、山本委員)	ホームページや子育て情報アプリによる情報配信、子育て情報博覧会の開催、関係資料の店舗への配架依頼など、引き続き取り組んでいます。	①	【元年度予算額】 ・子育て情報アプリ「ぎゅっと！」 1,280千円 ・子育て情報博覧会 124千円

番号	いただいたご意見	対応状況(令和2年7月末現在)	分類	予算措置 (①②の場合記載)
6	【子育て支援】 子ども集める場所、イベントは多数あるので、広報をもっとしてもらいたい。知らない人がたくさんいるのではないか。(植田委員)	広報紙への情報掲載をはじめとし、子育て情報アプリによる情報配信など、引き続き取り組むとともに子育て情報の出張相談を行うなどさらなる広報の充実に取り組んでいます。	①	【元年度予算額】 ・子育て情報アプリ「ぎゅっと!」 1,280千円 ・子育て支援室相談事業 1,026千円
7	【子育て支援】 同じ悩みを持つ親同士の情報交換の場を週1回区役所に設置するとなっているが、区役所に行けない人もいる。区役所に来れない人が子育ての悩みなどを投稿できる場所があればいい。(山本委員)	大阪市の取り組みとして、大阪府・堺市と協力し、大阪府下全域を対象としてSNSを活用した子育て相談等の窓口が開設されました。(令和2年6月25日(木)から令和2年7月31日(金)までの試行実施)	②	なし
8	【子育て支援】 新規事業について、子育て関連の専門の資格を持った人が子連れで参加し、他の人の子どもも見れるようになればいい。(三宅委員)	・新規事業は気軽に相談・情報交換できる場の設置と家庭児童相談員の増員により、子育ての不安を抱える親子に対する行政による支援の流れを作る取組となります。今後、事業を進める中でどのような展開が可能か検討いたします。	③	—
9	【子育て支援】 保育所で発達障がいの子を持つ親に働きかけて状況を把握できる体制を求めたい。(植田委員)	・子育て支援施設が連携を図れるよう連絡会を開催し、子育て支援室事業の紹介や発達障がいだけでなく、子育てに悩む保護者を区役所につなげていただくよう周知しています。 ・認可外保育施設についても連携を図れるよう巡回相談員による訪問を令和2年度から開始しました。	②	【2年度運営方針】 ・具体的取組2-1-8 子育て相談機能の強化 2年度予算額 9,170千円
10	【子育て支援】 天王寺区はマンション防災に取り組んでいるが、子育てに関する情報についてもマンション単位で進めれば有効なアプローチになるのではないか。(出水委員)	ご意見を受け、マンション防災の担当課の協力のもと、子育て支援室ポスターの掲示依頼などを行い、周知してまいります。	①	なし
11	【見守り】 見守りをされている方は、注意事項を記載したマニュアル等が必要なのではないか。(山崎委員)	制度開設時には、独居高齢者等見守りサポーター事業の説明会を開催しており、現在、マニュアルの改訂作業を行っております。	①	【元年度予算額】 ・独居高齢者等見守りサポーター事業 5,179千円
12	【見守り】 家に行くだけが見守りではなく、高齢者食事サービスなどに高齢者に来ていただくことも見守りになると思う。(田中孝子委員)	「独居高齢者等見守りサポーター事業」では、地域資源や各種福祉・介護サービスから孤立した高齢者に、外部の目が入ることで、支援が必要になったときに周囲が早めに気づき、早期かつ効率的な対応につなげることを目的としています。従いまして、地域の高齢者食事サービス、ふれあい喫茶の場においても、地域での見守りが行われるものと考えております。	①	【元年度予算額】 ・独居高齢者等見守りサポーター事業 5,179千円
13	【見守り】 私が月1回地域の見守りをしている地域では、見守り対象の方が高齢者食事サービスなどに行くことで定期的に見守ることができる状況になった場合は見守り対象からはずれてしまうが、見守り対象も継続すれば良いと思う。(福谷委員)	対象者が地域の高齢者食事サービスなどの地域資源につながり、定期的な参加が見られる状況になった場合でも、サポーターの見守りは継続されております。その場合、状況に応じて、訪問ではなく、高齢者の食事サービスなどの場での見守りを行うなどの対応をしております。	①	【元年度予算額】 ・独居高齢者等見守りサポーター事業 5,179千円

番号	いただいたご意見	対応状況(令和2年7月末現在)	分類	予算措置 (①②の場合記載)
14	<p>【見守り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な人は見守りのことを知らない。(北村委員) ・見守りを周知するのが課題だが、各種団体が何をやっているか互いに知ることが大事なので、来年度、話し合いの場を検討している。(田中孝子委員) ・薬剤師会の会員薬局で周知に協力できると思う。服薬の説明時にも、見守りの周知や確認ができる。(津田委員) ・住民同士の顔がわかる地域でもなかなか見守りのことが知られていないので、退職した男性の力を地域に活かすなどして、必要な方に見守りの同意をもっと貰えるようになれば良いと思う。(田中由紀子委員) 	<p>「見守り相談室」の事業周知として、ちらし・ポスター等を作成し、区役所などの公的施設での配架、区広報板へ掲出、地域の「高齢者食事サービス」や「ふれあい喫茶」の場等での周知を行っています。また、天王寺区広報紙や天王寺区社会福祉協議会発行の「ゆうあいだより」への掲載やホームページで区民に周知をしているところです。</p> <p>75歳時に見守りの同意をされなかった方に、随時、見守りの受付をしていることも周知するとともに、再度、意向確認を行ってまいります。</p> <p>引き続き、地域、天王寺区社会福祉協議会とも連携しながら、事業の周知に努めてまいります。</p>	②	<p>【2年度運営方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的取組3-1-1 独居高齢者等見守りサポーター事業 <p>2年度予算額 5,262千円</p>
15	<p>【健康】</p> <p>公園でのグランドゴルフや写経などの健康づくりを老人クラブでしているが、体を動かすことが大事である。(高木委員)</p>	<p>区としても、介護予防の効果が実証されている「いきいき百歳体操」や筋力アップの「ももてん体操」の紹介・実技指導をはじめとする出前講座を通じて、健康に関する関心が高まるよう取り組んでまいります。</p>	①	なし
16	<p>【マンション防災・町会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マンションの住民はほとんど町会に加入していない。災害救助青年部とも連携を図りながら、地域団体から防犯・防災上での必要性を訴えてはたらきかけていただけませんか。(飛田委員) ・災害救助青年部と連携を考えているマンション管理組合もいると聞いているので、体制づくりにつなげられないか。(片岡委員) ・町会に加入していない世帯に町会の周知ビラを配布するなど人と地域をつなぎ、地域で協力しあっていく機運づくりを高めていただきたい。(櫻井委員、宮前委員) ・新しいマンションができれば、住民の町会加入をすすめていただくよう、管理人に対して依頼してはどうか。(櫻井委員、菊山委員) ・町会費を管理組合が管理費とあわせて徴収する仕組みがあればよい。(菊山委員) ・災害避難所の運営を町会に協力していただいていることなどは区役所にとってもメリットと考えている。このように町会加入のメリット・デメリットを明らかにすることが必要。(菊山委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度からマンションへの個別支援を行う専門の職員を配置し、居住者を対象とした出前講座の開催やマンション単位での自主防災組織構築の働きかけなどの取組みを進めています。その際には、地域防災リーダー(災害救助青年部)の紹介を行ったり、地域の防災活動への参加を促すなど、地域とマンションとの連携を念頭において取り組んでいきます。 ・年3回地域活動協議会ごとに主な取組をポスターにして区広報板に掲示しており、合わせて同ポスターに町会加入の呼びかけも行っており、今後も行っていきたいと考えています。 ・令和元年11月開催の連長会にて、町会加入を呼びかける防犯、防災やふれあいづくりなどの内容を記載したチラシや町会掲示用のポスターをご案内したところです。連合及び町会におかれましては、それらも活用いただきながら、マンション住民も含め呼びかけなどのご検討をお願いいたします。 ・令和2年1月に、ここ2～3年以内に建設された新築分譲マンションのうち、マンション管理人から了承が得られたマンション18棟約800戸に対し、地活協紹介と町会加入を呼びかけるチラシの投函を行ったところです。 ・町会費を管理組合が管理費と合わせて徴収する仕組みは、管理組合において決定され、既にその仕組みを採用されているマンションがある事も聞いています。 ・災害時の避難所運営は、連合振興町会、災害救助青年部の皆様を中心になり担っていただいているところであり、いざという時に顔の見える関係づくりにつながるものとして、町会加入を呼びかける際に、加入のメリットとして伝えてまいります。 	①	<p>【元年度予算額】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災出前講座 637千円 ・地域資源との新たなつながりを活かした防災事業 3,386千円
17	<p>【防災】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害時には、重機などを持つ民間企業が復旧作業にあたるような協力が図れないか。(東浦委員) ・区内の電気・水道などのインフラ技術者で現職を退いた方を区で把握し、災害時に協力・相談できる体制を整えられないか。(飛田委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ・天王寺区では、大規模災害時に民間企業等の協力を得て、被災者支援や復興を円滑に行い、地域の防災力の向上を図るために「災害時協力事業所登録制度」を設けています。 ・現在、災害時協力事業所の中で、油圧ショベル等救助活動に必要な機器、その機器操作に必要な人員を発災時に提供いただける事業者として1社登録いただいています。なお、個人単位でも登録が可能ですが、個人で事業を営んでおられる方以外の登録はありません。 ・今後、専門的な資機材を有する事業所や技術を有する個人のご登録をいただき、災害時に地域へご紹介できるよう、区広報紙やHPを活用して引き続き制度の積極的な周知に努めます。 	②	<p>【2年度運営方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的取組4-2-1 マンション防災・地域との連携支援 <p>2年度予算額 3,803千円</p>

番号	いただいたご意見	対応状況(令和2年7月末現在)	分類	予算措置 (①②の場合記載)
18	【防災】 ・防災グッズの普及・周知をお願いしたい。(櫻井委員)	災害時に役立つ防災グッズについては、防災出前講座や広報紙などを活用し、今後も積極的に周知していきます。	①	【元年度予算額】 ・災害対策情報発信 203千円
19	【安全】 ・青色防犯パトロール車からマイクで交通マナーの注意を呼びかけられたら効果があると思う。(菊山委員)	警察に確認したところ、青色防犯パトロール車の実施目的に「交通」は入っていないので、危険回避のためやむを得ない場合を除き注意できないとのことです。区としては、直接的な指導よりも、区民の皆さんに広く啓発を行いマナー向上を図っていきたくと考えています。	④	—
20	【安全】 ・ゆめまちロードの取組みを10年行ってきたが、自転車のマナーは悪く、事故も増えてきている。警察にもっと取り締まりを行ってほしい。(東浦委員)	・天王寺区内では、依然として危険な運転をしている自転車が見受けられることから、警察に厳しい指導・取締りを要請するとともに、自転車マナー出前講座などの開催を通じ警察と連携した啓発活動に引き続き取り組みマナー向上を図っていきます。	①	【元年度予算額】 ・交通安全啓発事業 206千円
21	【安全】 ・上本町6丁目と谷町9丁目の交差点を歩車分離できないか。(菊山委員)	・歩車分離式交差点の新設について警察に確認したところ、交通量の多い交差点や道路、主要交差点への導入は、信号待ち時間が長くなり渋滞の原因となる恐れがあり、かつ、斜め横断や信号無視、急発進などによる交通事故の誘因となることから導入は難しいとのことです。	④	—
22	【区の魅力発信について】 区内には、四天王寺以外にも多くの寺院や、歴史・文化等著名人の墓所がたくさんある。熊野街道ウォーク以外のウォーキングコースの設定も可能ではないか。(中野浩志委員)	多くの歴史・文化資産を有する天王寺の情報を発信するため、令和3年の聖徳太子没後1400年に向けて、地域団体、寺社と連携し、聖徳太子ゆかりの地を巡るウォーキングコースを設定し、上町台地周遊マップに掲載しました。令和2年度は、聖徳太子ゆかりの地を巡るウォーキングも実施してまいります。	①	【元年度予算額】 ・天王寺区魅力発信・にぎわいづくり事業 842千円
23	【令和3年聖徳太子没後1400年のPR】 聖徳太子といえば、奈良県や太子町等、他市町村のイメージが強いため、令和3年に向けて聖徳太子と四天王寺を合わせてPRしてはどうか。(竹田委員)	天王寺区のポスターや上町台地周遊マップで、四天王寺を背景にしたデザインで聖徳太子をPRしているところですが、聖徳太子没後1400年イベントを開催するにあたり、今後とも聖徳太子や四天王寺を積極的にPRしてまいります。	①	【元年度予算額】 ・天王寺区魅力発信・にぎわいづくり事業 842千円
24	【地域活動協議会】 ・市からの補助金は制約が多く使いづらい。(東浦委員) ・区役所は地域ともっと意見交換を行い柔軟な制度作りをしないと、担い手は離れていく。担い手に対して活動に必要な費用を補助金から柔軟に支給することはできないか。(菊山委員)	・補助金は公金であることから、公益性、会計の透明性が求められており、用途や証拠書類の提出において一定の制約があることについてご理解をお願いします。なお、地活協を支援している中間支援組織であるまちづくりセンターからの意見も聞きながら、可能な範囲での制度運用は行ってまいりたいと考えます。 ・市補助金の補助割合は原則50%のところ、地活協補助金は、無報酬の労力相当として、みなし人件費である25%を加えて75%補助と各種活動に対する補助割合は高くなっています。なお、補助限度額内において、具体的な活動内容は各地域の地活協に委ねており、地域内において一定の裁量はあるところです。	⑤	—

※分類

- ①当年度(元年度)において対応 ②2年度運営方針に反映または2年度に対応予定
③2年度では対応できないが、今後引き続き検討 ④対応困難または対応不可
⑤その他